

平成29年度 姉妹校等留学プログラム

第3回高校生ドイツ派遣プログラム（高校生作文コンテスト）

(1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

NPO法人 横浜日独協会/海外研修（2人）

(2) 渡航先

国/都市：ドイツ/フランクフルト

(3) 期間

平成30年3月20日～平成30年3月30日（11日間）

(4) プログラムの趣旨・目的

横浜市内でドイツ語教科を持つ5つの高校から選抜してフランクフルト市へ派遣し、日独交流と姉妹都市間の友好親善に寄与することを目的とする。

(5) 活動内容

- ドイツ人の家庭にホームステイし、姉妹提携高校の学生たちと交流
- 現地の歴史的建造物や都市活動の実態を見学し、多くの新知識の習得

(6) 実績・成果

○派遣高校生 KTさん

今回、日独協会、横浜市様のご協力で十日間ドイツ派遣を行ってきました。私がドイツで感じたことを文章にしたいと思います。

まず私はこの派遣が初めての海外でしたのでドイツは私にとって大きな成長の一步でありました。日本は桜が満開の時期を迎え春を感じさせる暖かい日が続いていたようですが、ドイツの気温は低く、大粒の雪が降っていました。その見慣れない街が白く染まった景色を見て、ついにドイツに着いたのだと実感したことを覚えています。それからの十日間は眼に映る全てが新鮮で耳にする言葉に集中し言語を学習、多くの人とコミュニケーションをとり、視野が以前と比べものにならないくらいに広がった素敵な日々でした。

私がドイツで感心したことはこの文章に書ききれないほどたくさんあります。その中でも一番興味をそそられ、さらに学んでみたいと感じたことについて紹介します。それはフランクフルトの建築物についてです。

二日目のプログラムでOさんという方がフランクフルトの街を案内してくれました。フランクフルトの街は第二次世界大戦により建物の多くが焼けてしまい、ほとんどが第二次世界大戦後に建て直されたものです。ですが、私がフランクフルトの中心街を見た時になんの違和感もありませんでした。なぜなら、昔のまま残っている建物と新しく建

てられた建物の違いがほとんどないからです。まるで全て昔のまま残されているかのような景観でした。また、現代的な造りの建物は再度建て直され中は現代的な造りのまま、外観は昔ながらの造りになっているものもありました。他にも、大部分は焼けてしまっても壁面だけ残っている建物でも残っている部分には手を加えずに立て直したものもありました。

これらの文化の残し方に私は非常に感心しました。文化を残す、これは決して簡単なことではありません。人は生きやすいよう、便利な生活を望みます。その結果、昔ながらの建物は便利な生活を望む私たちにとって不向きになってしまうのです。一方フランクフルトの建物はこの問題をみごと解決しています。古い建物を新しく作る。勿論内装は新しく、私たちが生活しやすい形に建て替えられています。私たちの生活スタイルに合わせた文化の残し方、それは一番理想的な方法だと私は思います。

私はいずれ、ものづくりに携わる仕事をしたいと思っています。ですからこのように文化を残していく考え方は見習うべきことだと強く感じました。私が生まれる前、私が知らない時代を生きた人たちが残してきたものを今、自分の手で触れられる、その素晴らしさに気付かされた十日間でした。

このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。ドイツでの経験を自分の将来に活かしていきたいです。



○派遣高校生 SMさん

私の人生の中で最も素晴らしかった日々について話したいと思います。それはドイツで過ごした2週間です。

横浜市と横浜日独協会様にまず感謝の気持ちをお伝えさせてください。このような素晴らしい機会を設けていただき心から感謝いたします。

それでは、ドイツに着いた日から始めましょう。空港の外に出て、最初に目に入ったのは雪景色でした。3月に雪が降っていることに対して驚きを隠せませんでした。そしてその次には、そんな素敵な街で暮らしているホストファミリーがどんな人たちなのか

気になりました。会った途端に持っていた緊張はすぐに飛んでいきました。彼らがとても親切で、とびっきりの笑顔で迎えてくれたからです。

荷物を整理し終えた後、すぐにホストシスターが通っている現地の高校に行きました。学校では日本人代表の心を持ち、エッセイに書いたような日本の良い礼儀や美德を重んじました。現地の高校で一番感心したことは、生徒が積極的に発言するだけでなく、他の生徒が発言したことに対して全員が意見や批判をしていたことでした。

それからの日はドイツ支部の方々に、色々なところを案内していただきました。お陰様でドイツをもっと身近に感じることができました。己の国の文化を知る大切さも学びました。

この2週間は一生忘れません。そしてこのプログラムは私の夢への第一歩です。

